

照得字號來百

小野治分仕組立信書類

本回

周防國吉敷郡嘉加川村

本間源三郎殿

親展

書留
82

東京市四谷區坂町四拾七番地

小野敦善



此等右金三方内信用者極ハ先ノ西村田
中右金等ノ出納修用金と辨ヒ軒子身申
ノ出ラ撥賦^ノ極^ノ方^ノ少^ノシカラ^ノト^ノ又^ノイ^ノカ^ノ振^ノ不
的仕程違^ノヲ^ノ由^ノ々^ノモ^ノ好^ノ来^ノ回^ノ獲^ノ、^ノ目^ノ的^ノヲ^ノ確
實^ノニ^ノ施^ノ力^ノニ^ノシ^ノラ^ノシ^ノハ^ノ速^ノニ^ノ申^ノ興^ノノ^ノ無^ノ業^ノハ^ノニ^ノテ^ノテ^ノ取^ノ入^ノイ
カ^ノニ^ノ候^ノ約^ノク^ノト^ノ申^ノシ^ノテ^ノ種^ノ名^ノニ^ノシ^ノ又^ノ一^ノ下^ノ男^ノ下^ノ女^ノヲ^ノ減
ス^ノル^ノモ^ノ横^ノ約^ノノ^ノ一^ノテ^ノシ^ノ他^ノ一^ノヲ^ノ節^ノト^ノテ^ノ一^ノヲ^ノ節^ノセ^ノサ^ノシ^ノハ^ノ其^ノ効^ノヲ^ノ
為^ノシ^ノ駐^ノシ^ノ元^ノ来^ノ少^ノ金^ノ亦^ノノ^ノ快^ノ及^ノヲ^ノ見^ノ入^ノニ^ノ祖^ノ先^ノヨ^ノリ
録^ノリ^ノモ^ノ寸^ノヤ^ノノ^ノ借^ノ銭^ノヲ^ノ辨^ノヒ^ノ存^ノシ^ノハ^ノケ^ノリ^ノシ^ノハ^ノ為^ノ差^ノ之
衣食^ノノ^ノ費用^ノト^ノ収^ノ入^ノノ^ノ償^ノケ^ノサ^ノル^ノニ^ノ因^ノ由^ノセ^ノシ^ノテ^ノラ^ノニ
衣食^ノト^ノハ^ノ何^ノソ^ノヤ^ノレ^ノ也^ノ分^ノノ^ノ仕^ノ程^ノニ^ノテ^ノ流^ノセ^ノシ^ノメ^ノ度^ノ人
費^ノト^ノハ^ノ何^ノソ^ノヤ^ノ人^ノニ^ノ啗^ノ倒^ノリ^ノシ^ノ又^ノ様^ノ々^ノ注^ノ意^ノニ^ノテ^ノ辨
要^ノト^ノ推^ノラ^ノ致^ノカ^ノ右^ノノ^ノ借^ノ意^ノ見^ノ入^ノハ^ノ何^ノ由^ノノ^ノ多^ノク^ノシ^ノテ^ノ
付^ノ席^ノノ^ノ申^ノ事^ノ由^ノ申^ノレ^ノリ^ノキ^ノ海^ノノ^ノ松^ノノ^ノ申^ノ事^ノ申^ノセ^ノル^ノ也^ノ
我^ノノ^ノ言^ノト^ノ信^ノ意^ノス^ノテ^ノキ^ノ種^ノ種^ノ辨^ノ別^ノカ^ノラ^ノテ^ノ役^ノノ^ノ其^ノ要
償^ノ者^ノ伴^ノヲ^ノ程^ノノ^ノ人^ノ如^ノク^ノ申^ノラ^ノル^ノレ^ノハ^ノ一^ノ亦^ノ不^ノ弱^ノト^ノ申^ノル^ノ也^ノ
業^ノヲ^ノ申^ノル^ノト^ノ申^ノラ^ノフ^ノサ^ノル^ノニ^ノ申^ノテ^ノ申^ノル^ノニ^ノ候^ノ約^ノト^ノ申^ノシ^ノテ^ノ
モ^ノ申^ノル^ノ由^ノハ^ノ申^ノ意^ノニ^ノテ^ノ種^ノ種^ノと^ノ候^ノシ^ノサ^ノル^ノト^ノ申^ノル^ノ也^ノ
此^ノノ^ノ由^ノ申^ノル^ノ事^ノト^ノ申^ノハ^ノ左^ノノ^ノ如^ノキ^ノ申^ノ事^ノ申^ノル^ノ事^ノ申^ノル^ノ也^ノ
カ^ノソ^ノモ^ノニ^ノシ^ノツ^ノク^ノタ^ノシ^ノ又^ノハ^ノ書^ノ留^ノシ^ノテ^ノ申^ノル^ノ事^ノ

持啓時の春暖た催井空蓋あり多禱す
二山生ふる階の紅の白有浮所ぬ袖ふきり
あか堂象仕但夏上内群疑二さう十片印取
深く古の多御然々子や生く計七言體感七
控念祖是之對しけ添金三百四山掛如江
度之官毎返所西州く火中上象、け火海好
ぬれと半ぬ條下、内停奈右く題す所平行
と上海舟勢、都く十七人の海舟共の對し疑念
と置て松にち久く一尺右松く文の毛墮
と云ふ、元来此の仕但夏之対半、戲い成
と群、と云ふ、一の事、のちさ下、集、傳用、古、云
寺介、の、迷、惑、有、勢、の、次、介、の、云、ふ、百、官、有、り、
々、ゆ、條、ら、り、な、り、の、勢、の、在、金、三、百、四、と、十、名、の、
少、生、く、あ、る、と、い、わ、れ、く、あ、る、と、云、ふ、在、官、有、り、
等、道、玉、象、の、旅、り、の、不、の、非常、石、甲、時、角、夏、
一、部、二、引、當、テ、し、旧、年、有、り、た、ん、之、ナ、レ、バ、お、名、道、平、馬、十
所、體、感、ら、り、て、修、女、有、り、と、七、十、年、半、で、右
仕、但、夏、の、由、り、の、明、く、の、不、行、勢、の、あ、る、
け、い、つ、す、一、其、の、時、下、の、日、是、古、一、の、傳、
年、一、の、勢、の、是、り、

以、以、三、年、三、日、中、四、
本、百、所、三、印、也、
少、老、教、等、云、

李与陈
字持
辰

誠

お徳子

有啓明之新天子
貴し仲印之方後劉衣
字樣式存社構寫房牙
吾四夷之長子也
五〇号之云ん武松板々
送此只官所海孝子止
少時後女之懐しとら谷
去しと云之海費石成
位位去指堂物之子女
入れ之和孝子出年とと
松子孝子也

元二甲子月九日、本教書

石台棟之印殿



周防國吉敷郡小郡
嘉加川村

本間源三郎殿

至急 執事 様

東京市四谷坂町四丁目七番地

封

少野吉教書

有野町下實業會社

此種何處なる事なる所新

白信、此令情と云々

手通の事、お少生情

仁徳と云々、お少生情

此種事と云々、お少生情

石の如き、お少生情

お少生情、お少生情

之の一千日、お少生情

此の如き、お少生情

此の如き、お少生情

此の如き、お少生情

此の如き、お少生情

此の如き、お少生情

此の如き、お少生情

此の如き、お少生情

此の如き、お少生情

此の如き、お少生情

此の如き、お少生情

少壯家化徳主権を果すべく
是より已に故の相若く是
右梯扇送し此の如く杜若ん元
三々⁴を⁴中より取らん⁴此の
ある人正不候任らん此の
一、九年、東書、果、一、時、
竊⁴ヲ⁴逃⁴し⁴こめ⁴と⁴一⁴く⁴活
費⁴を⁴預⁴り⁴て⁴為⁴して⁴不
お⁴悔⁴ふ⁴也⁴果⁴に⁴右⁴梯⁴扇⁴
武⁴中⁴板⁴送⁴所⁴を⁴取⁴らん⁴は
畏⁴ら⁴ず⁴歟⁴とい⁴故⁴に⁴右⁴端⁴
書⁴して⁴交⁴歟⁴、果⁴と⁴い⁴は⁴れ⁴
と⁴十⁴是⁴と⁴不⁴成⁴す⁴所⁴に⁴一⁴也⁴、
い⁴故⁴に⁴右⁴の⁴十⁴を⁴し⁴て⁴果⁴と⁴い⁴は⁴れ⁴
又⁴右⁴梯⁴扇⁴の⁴輕⁴便⁴を⁴為⁴
す⁴て⁴中⁴に⁴取⁴らん⁴は⁴何⁴れ⁴也⁴
果⁴の⁴右⁴端⁴を⁴之⁴に⁴明⁴り
書⁴る⁴入⁴子⁴と⁴い⁴は⁴れ⁴る⁴也⁴
一、故、如、所、あ、ら、う、い、ふ、

書る入子とのこそりたるな
り一柱お祈りあづか
申す殿迄めけこまきと
時下り加^解保すまき福

一日光り意美

奉旨深三印為
北下

能成也

一云及刻銘石佛式今社佛身方寸四寸五分

ヨリ才五寸五分ノ一ニ是以於教

者ハノ得テ其系少也故其書取リテ前見

ノ様有被之、以テ度之、其形ノ向ク是

ニシテ其ノ形ノ起リ、以テ度之、其形ノ向ク是

此形也

四寸五分ノ一ノ形ノ少也

本問源ノ形

元

土名陽中あり西にあり

一回地中あり

地中あり

土名陽中あり西にあり

一回地中あり

地中あり

土名陽中あり西にあり

一回地中あり

地中あり

土名陽中あり西にあり

一回地中あり

地中あり

土名陽中あり西にあり

一回地中あり

地中あり

土名陽中あり西にあり

一回地中あり

地中あり

おろし野老の面書四のあり

一 老地と交らぬおれあり

地債は打らぬおれあり

赤七のふりまのふりまの百回 打ちあし
おろしおろしおろしおろし 打ちあし

一 初地と交らぬおれあり

地債は打らぬおれあり

おろしおろしおろしおろし

一 初地と交らぬおれあり

地債は打らぬおれあり

おろしおろしおろしおろし

一 初地と交らぬおれあり

地債は打らぬおれあり

おろしおろしおろしおろし

一 初地と交らぬおれあり

地債は打らぬおれあり

おろしおろしおろしおろし

地債は打らぬおれあり

おろしおろしおろしおろし

一 初地と交らぬおれあり

地債は打らぬおれあり

おろしおろしおろしおろし

一山房習字必書

地價之平

古之所謂必書者

一山林主之必書也

世價之必書也

若夫山林主之必書也

必書之必書也

必書之必書也

若夫山林主之必書也

必書之必書也

必書之必書也

古本より取相

一月三日

古本より取相

東海道名所記云云此所は移りて古本

十野の教の古本

道に別代題の注に對して此入りの文は古本の
古本教の古本に對して古本の古本

一月廿五日郵傳とてしるはしる

額收証

一 大坂製紙網採式合社採券券第 四三三三号
ヨリ券 圓 壹 四 五 〇 号 迄 取 扱 致 申 上

右と今 額 收 証 証 文 付 上 申 上 他 方 採 券 分 別 申 上
扱 者 へ 向 付 申 上 送 付 申 上 申 上 額 收 証 文 付 申 上

但 至 急 小 野 港 へ 引 取 扱 申 上

山口縣若敷郡加川村

昭和 十 年 一 月 二 十 日 本 日 採 券 所

東 京 市 本 町 三 丁 目 三 番 号 採 券 所

小 野 港 製 紙 所

油

中田つとむ

少切

任先少中耕田

一色春而田也

有皇族翁持之又少物也持之少中田

りて也

の海平家

今任先少中耕田

四月五日

の海平家

而油 此也

田助あしひ

而於此乃少田

有少中耕田也任先少中耕田

乙二少中耕田也

の海平家 四月五日 少中耕田



有少中耕田也

義孝四月七日奉書

受信人

東京市四谷區坂町四指七番地

小野 敷

受信人

本間源三郎

カワセマサニツイメホシマゲコサフロウ